

単元名 「はっぱのいろがかわったよ」

< 本時の課題 >

ともだちがつくったりかんがえたりしたものであそび、
もっとたのしくなるためのヒントをだしあおう！

全 19 時間予定の 14 時間目

前時まで、校内や校外で秋さがしを行い、その際に発見した秋の物を使い、遊びや遊ぶ物を作ってきた。

< 授業の視点 >

児童がつくり出した遊びや物で実際に遊び、楽しくなるために考えたことや困った点についての考えを交流し合う際に、同じような遊びをしている児童同士で交流したことは、さらに楽しい遊びや物をつくり出すための工夫に気付くために効果的であったか。



今まで、秋さがしや秋遊びを楽しんできましたね。今日は 1 人 1 人が考えた遊びや遊ぶもので、みんなで遊び、もっと楽しく遊べる方法を考えてみましょう。

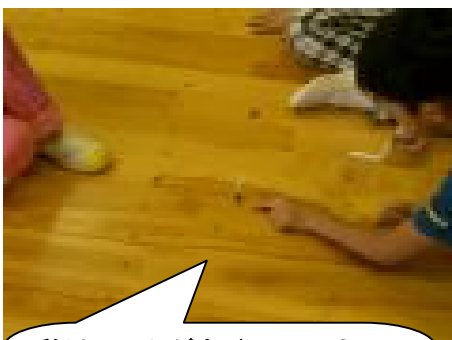
< であう >

今までみんながしてきた遊びの様子を撮った写真があります。そのときの様子を思い出してみましょう。
写真：【こま遊び】 【ツル縄跳び遊び】 【落ち葉プール遊び】



手だて

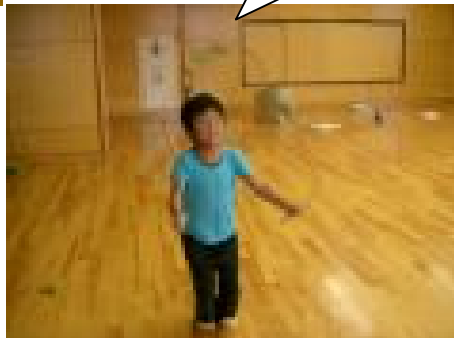
児童が遊びの工夫について意識できるように、楽しかったことや失敗してしまったことを質問し、同時にその理由についても質問した。



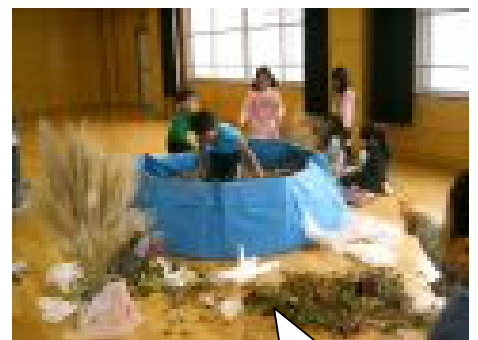
私は、こまが良く回るように、楊枝の部分をいっぱい出したから勝って楽しかったよ。

私はこまを作ろうとして穴を開けたら、ドングリが割れちゃったのであきらめたの！

ツルが縄跳びみたいに長かったから、縄跳びしたら楽しかったよ。



葉っぱがヒラヒラしてとても楽しかったけど、葉っぱが飛び散ってしまって掃除が大変だったよ。





実際に遊んでみると、うまくいったことや困ったことが出てきますね。今日はそれをお友達に伝え合ってよく考えてみましょう。

手だて

児童が常に遊びの工夫について意識しながら活動できるよう、『工夫したことや困ったことを友だちに伝えながら遊ぶ』ことを板書して確認した。

<かかわる>

では、みんなで楽しく遊んでみましょう！！



手だて

今までの活動を生かした多様な気づきが出るよう、同じような遊びをしている児童毎にグループ分けをして遊ばせた。

写真：グループ分け



あっ、私は『おもちゃを作ったよグループ』だ！

僕は的当てゲームを作ったから、『ゲームを作ったよグループ』だ！

そうか！僕は『こんな物できたよグループ』なのか！

手だて

グループで遊びながらの交流の時間が確保できるよう、単位時間を 60 分に延長した。



【おもちゃを作ったよグループ】



【ゲームを作ったよグループ】



【こんな物できたよグループ】

手だて

一斉での交流にかける時間を短くできるよう、グループでの交流の際に児童が気付いたことを、教師が声かけしながら適宜記録して掲示していった。



コマをストローに刺して吹いたら浮き上がったんだよ。だから、それをおもちゃにしたんだよ。

最初はコマを作っていたみたいだけど、どうしたらそのおもちゃになったの？

それすごい発見だね。
記録しておくよ！

何でケンカしてるの？

ケンカにならないためには何か必要じゃない？



僕の順番が回ってこないんだよ！！

そうか！

ルールや順番が必要だね！！



困ったことや工夫したことがいっぱい出てきたね。記録しておくね。



<ふりかえる>

工夫したことや困ったことについて、みんなで話し合ってみましょう！



手だて

<かかわる>の段階で記録した用紙を活用して、各グループに共通するような点を話題に取り上げ、なぜうまくいったのか、いかなかったのかを全体に確認し、気づきを高めていった。



今日はみんなで遊んでみて、工夫したことがたくさん出てきたし、困ったことについては、その解決の方法もわかりましたね。今度の時間は、このことを生かしてもっと楽しい時間にしましょう。

授業を終えて

(成果)

つなぎ役としての教師の役割を意識した言葉がけにより、児童の気づきを自覚させることができた。

活動の時間を充分にとったことで、多くの気づきが生まれた。

グループに分かれて活動したことで、児童同士で意見の交流をしている場面が多く見られた。

児童にカードをかかせるのではなく、教師が児童のつぶやきを記録したことで、児童は活動に集中できた。また記録用紙は、全体での話し合いの中で振り返るために効果的だった。

授業の流れが良かったため、児童の次時に対する意欲が高まった。

(課題)

振り返る過程で、児童同士の意見の交流からさらなる気づきが生まれるような話し合いになると良い。

見取りの方法を多様に設定する必要がある。